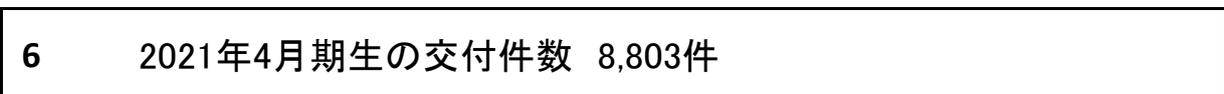
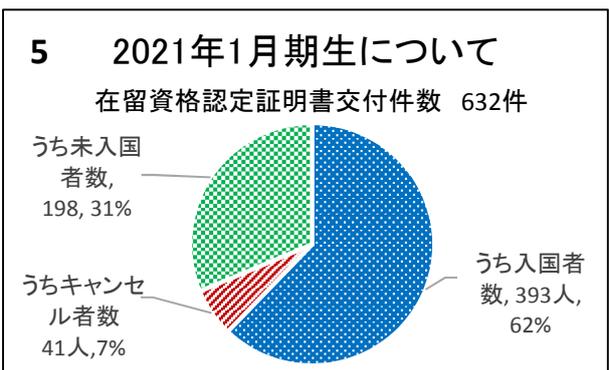
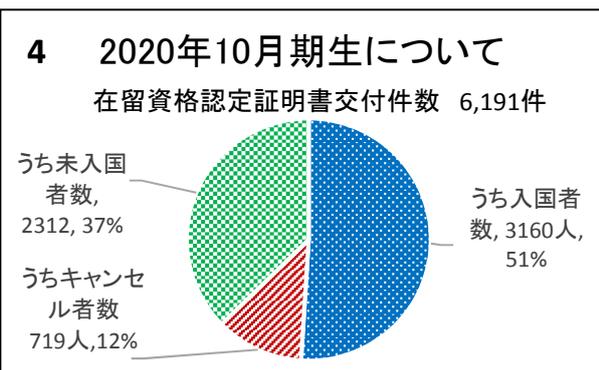
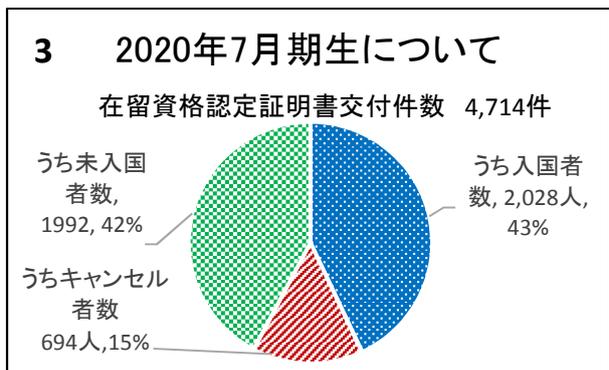
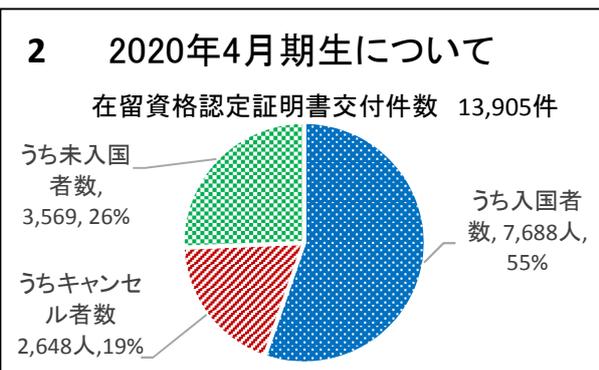
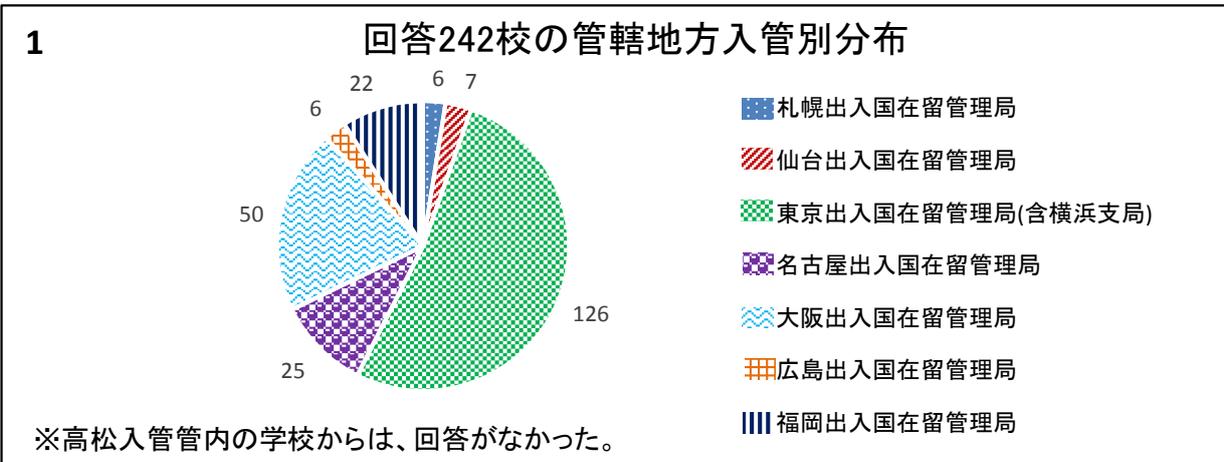


新型コロナウイルス感染症の学校経営への影響に関するアンケート結果

2021年3月12日
日本語教育機関関係6団体



7 お困りのことや、政府への要望などがありましたら、お聞かせください。

1	いつ入国ができるか分からないので、在留認定が交付されても、学費が入ってこないで、非常に困っています。
2	どうなれば入国制限が解除されるのかの基準を示してほしい。この状況が続けば運営資金が底をつく。
3	飲食や観光には経営維持の為の特別な予算が国や自治体から投入されているが、日本語教育機関は蚊帳の外という現状である。これまで多くの留学生を受け入れ、育て、高等教育機関へ送り出して来た日本語教育機関は、大学等を支えるだけでなく、ビジネスの世界へも優秀な人材を提供する最も重要な入り口であり続けて来た。また、留学生も飲食し、観光もする消費者である。日本語教育機関の経営維持を守ることは、幅広い分野の経営を支えることに繋がる。当校は昨年12月に決算を終えた。2011年の震災以来、10年ぶりの赤字決算である。このまま留学生の入国規制が緩和されず、昨年と同様の事態が起きた場合、一体どれくらいの数の学校が生き残れるだろうか。今再び日本語教育機関にとって正に緊急事態である。国や自治体に頼れないなら、自力で生き残って行かなければならない。一刻も早く入国規制を緩和していただきたい。
4	学校運営が壊滅状態なので入国させてほしい。隔離等の措置は政府の要望通り実施しますので、資金面もクラス運営も含め、早く水際対策の緩和を求めます。
5	学生が早期入国できるよう措置をお願いしたい。当然学校としても日々のコロナ対策は講じているが、入国後の2週間待機費用も学校と学生で負担するのは相当厳しい。国の援助はないのか？
6	学生の入国がなければ学校運営はできません。
7	学生募集ができていないこと。学生がいつ入国できるか、予定が立たないこと
8	学生募集が危機的状況であるのは、言うまでもないことですが緊急事態宣言解除になったら、1日でも早く留学生のビザ申請が可能となるようにご尽力いただきたい。
9	学生募集が危機的状況にある。留学生の入国を早期に認めてほしい。
10	学生募集も非常に難しくなっていますが、在校生もおりますので学校を存続させる努力をしています。でも入国の目途が立たない状況が続くことは今後の経営に影響します。
11	学生募集危機的状況、資金的に厳しい、何より早期入国緩和を切に願います。
12	学生未入国で学校運営が厳しい。
13	現地出張が不可能な状態であり募集が難しい、入国制限が解除されないままだと21年4月期生の中でもキャンセルが多数発生する恐れがあるので早く入国制限を解除してほしい。
14	在留資格認定書が交付されている留学生(2020年4月～2021年4月)の入国緩和に関する具体的な方針と行程についての指針を明らかにしてほしい。新規参加者が激減した中での2020年度から、更に在校生が卒業していく中で、企業継続と雇用維持に苦慮している現状が2年目に入ることに対応した支援金等の援助策の実施を要請する強力な圧力が必要だと考える。
15	在留資格認定証明書の有効期限の延長。留学生の新規入国の早期実現。2週間隔離時の公的費用負担。
16	水際対策の重要性に一定の理解はしておりますが、早期入国再開を切に願います。4月以降も入国緩和措置がなされない場合、資金的に厳しくなりますので、日本語教育機関を対象とする給付金などの措置を講じていただけますようお願い申し上げます。
17	卒業生を送り出すと学生は昨年の1/8の学生数となり、経済的にもかなり危機的状況に陥ります。昨年末のレジデントラックで入国した学生への対応では毎日の健康チェックから、見回り等、緊張感をもって対処したため、コロナどころか一人の健康不調者も出していません。受け入れ機関のあるレジデントラックでの入国こそ外国人を受け入れる安全な方策であると思います。また、14日間の隔離を必要とするため、旅行業等を潤すことにもつながります。できるだけ早くレジデントラック利用の入国拒否の解除をしていただきますようお願いいたします。
18	入国情報を早期おしえてほしい、4月入学準備ができない。在留おいても入国できない状況が長期的に続くと、キャンセルが増え、今後募集にも深刻な影響
19	入国制限解除の目途の情報などが一切来ないため、今後どのように乗り切るのかの対策がなかなか打ち出せない。もちろん経営も圧迫している。
20	留学生の入国が4月中にできるよう要望する。入学生用の借り上げ宿舎の家賃資金が不足。
21	留学生の入国の早期再開が無ければ、資金が厳しい。
22	入国制限早期緩和、留学生への支援金拡大
23	1. 新規入国の再開時は国費留学生と私費留学生を区別することなく、留学生として一定の入国枠を設けてほしい。2. コロナの影響を受け、進学や就職に支障が生じた場合、特段の理由なく、2年を超える期間更新を認めてほしい。
24	2021年4月期生が一日も早く来日できるように配慮していただきたい。
25	2021年4月期生についても入国できるかどうか不透明で、申請者へ入国の案内できないことがキャンセルに繋がっている。いち早く入国についての方針を出してほしい。
26	4月生入国の見通しが立たず、クラス編成ができない。
27	レジデントラックの早期再開を求めます
28	一日でも早く入国ができますように、宜しくお願いいたします。
29	一日も早く入国出来るようにして頂きたい。
30	隔離措置などはしっかりやりますので、早期入国制限を解除して欲しい。

31	学校運営が危機的状況にある
32	学生の入国ができない点、学生のアリバイトの時間数が少ない点
33	学生の入国が見通せない
34	学生募集の先が読めない。入国制限解除されないと、7月・10月も昨年より落ち込む可能性がある。制限解除に際し、日本語学校は大学(国費も含め)よりも厳重な管理を行える点も、考慮してほしい。
35	空港の検査体制を万全のものとし、日本のどの空港でも入国できるようにしていただきたい。
36	交付がおりた学生の入国がいつになるかわからず学生の入国への期待が不安に変わり勉強意欲を失う学生もいます。留学生の早期入国を望みます。
37	国別に一律で入国規制するのではなく、ワクチン接種済や陰性証明書の提出を条件に入国を認めるべきである。
38	困っているのは、とにかく学習者が来日できないことです。来日できた学生たちを見ても、来日後2週間の自粛期間を経て体調には全く問題はありません。来日前、来日後の検査、体調管理を丁寧に行えば、海外から受け入れることはまったく問題ないと思うのです。水際対策は国を閉めるというやり方だけではないと思うのですが。
39	昨年の1月期一時帰国し、ビザを新規で取り直し、入国ができない者がいます。入国の制限解除を望みます。
40	出来るだけはやく新規入国が再開されること希望します。
41	条件付きで構いません、早期新入生の入国を許可していただきたい。
42	生活困窮者は日本語能力が低く、JASSOの給付金対象者にならない。留学生の入国を1日でも早く可能にしてほしい。また、帰国困難者を早く帰国させてほしい。
43	先行きが不透明なので、見通しだけでもアナウンスをしていただけると、プランが立てやすいので助かる。
44	全世界が無理でも、安全な一部の国の学生には、新たな条件(ワクチン接種とか入国後何日目かのPCRテストなど)を加えてもよいので、入国を認めてほしい。
45	早い段階での入国(新規入国者)
46	早く入国できるようお願いします。
47	早く留学生の入国制限を解除しますようにお願いします。
48	早期に留学生の入国が実現できるよう切に願います。
49	早期の入国緩和(新規入国者)
50	増員申請の条件を緩和して頂きたい。留学生が早めに入国できるように対策をお願いします。
51	遅くても、2021年4月期生の学生を、4月中に入国できるようにお願いします。
52	中長期在留者の早期入国
53	中長期滞在者の早期入国
54	東京オリンピック実施のために、留学生等の中長期在留者の入国を制限するのだけはやめてもらいたい。
55	入国(入学)できていない学生が多数おり、資金的にも非常に厳しいこと、これ以上入国できな状況が続くと、キャンセルする学生が増える可能性があるため、できるだけ早く入国規制を緩和し留学生が入国できるようにしてほしいです。
56	入国に目途が立たない、ビザ発給を迅速にお願いしたいです。
57	入国を1年以上待っている学生もいる。ワクチンを接種した学生などについては入国を許可するなど、一律で入国制限をするのではなく、対応をしていただきたい
58	入国緩和(新規入国者)
59	入国規制解除時期がわからず、とても不安です
60	入国制限が解除され、来日できることを本国にて一年から半年以上待機している学生が数多くいます。入国制限が継続すれば入学辞退をする学生が益々増え、学校運営にも支障がでます。一刻も早い入国制限の解除をお願いします。
61	入国制限の早期緩和をお願いします。特定の国(感染者が少ない国ーベトナム)は制限をはずしたり、条件の緩和を考えてほしい。
62	入国制限を緩和して欲しい。関空にも国際便の発着をするように各国政府や航空会社に働きかけて欲しい。2週間の隔離期間の短縮、撤廃をして欲しい。
63	入国制限解除がいつになるか不明のため、行事はもちろん、講師の人員確保など今後の予定が立てられない。
64	入国制限解除の条件が知りたい。
65	留学生の学習や進学に影響が出ているため、一刻も早く入国緩和していただきたいです。
66	留学生の入国緩和を求めたい
67	留学生は早めに日本へ入国できるようお願いします。
68	①東京入管の交付は相変わらずコロナ対策と無関係に厳しすぎる。②学校運営は不能に陥るため、追加的支援金、とりわけ政策融資枠の拡大が必要です。

69	2020年4月から1年近くも新生が入国できていない状況もあり、学校運営に大きな支障が出ています。さらに緊急事態宣言の発出により、ビザの発給も停止し、今後の入国予定も不透明である。2021年4月には在学生在がなくなる中で、学費等の収入も大幅に減少し、職員の雇用確保も喫緊の課題である。1.日本語学校を雇用調整助成金の対象業種となるように要請したい。2.その他に経済的な支援もお願い致したい。沖縄では2021年4月生の交付結果も過去5年間で最低の結果となり、今後さらなる不安材料となっている。銀行書類の信憑性を疑われ不交付となっているが、説明は一切できないと言われている。入管の説明されないことについて、ネパール側から日本の対応に不満がでている。説明されないという事で日本への不信感が募り、日本への留学希望者が減少することに繋がりがかねない。1.不交付理由の詳細を説明してほしい。2.各地方入管により交付率が相違する理由を説明してほしい。3.他の入管との審査基準が相違しているのではないかと疑念をもたれる点も改善してほしい。
70	海外に学生募集に行くことができず、学生募集が危機的状況である。学費収入が減少し学校経営が厳しい。交付率が厳しい。
71	学生募集が危機的状況にあり、経営的に厳しく又、地方入管ごとの審査基準の違いを感じます。
72	学生募集が危機的状況にある。東京地区は交付結果も国によって歪な形だから募集できる国が限られ上に、海外から入国制限をされてしまっている状況なので、日本語教育が必要な企業と日本語学校とのマッチングを国(地方公共団体等)がやるなどしてなにか少しでもいいから仕事と収入を確保できるようにしてほしい。
73	学生募集が危機的状況にあるため、学校存続が危うい。漢字圏以外の学生の審査で銀行関係書類の審査方針を変更していただきたい。残高証明書で不交付になることが多いので、入管が各国の銀行を指定するなりしていただきたい。偽造でなく銀行で発行されているにもかかわらず、残高証明書の信ぴょう性がないことは、学生は一か八かの申請になってしまっているため。
74	学生募集は留学ビザの厳格化とコロナにより危機的状況です。
75	質の高い学生を集めているのに交付されません。コロナの影響もかなりあります。入国規制などするのであれば補助金等いただければと思います。
76	日本全国の交付率にばらつきがないように審査してほしい。適正校選定基準を見直してほしい。学生募集が危機的状況にある。資金的に厳しい。
77	①学生募集が思うようにできない ②入国できないので、学費の徴収ができない&クラス編成ができない=教師の確保が難しくなっていく このため、そもそも運営に多大な影響が出ている。飲食業、観光業だけではなく、様々な業種に影響がでているので、それを踏まえた政策をお願いしたい。よろしくお祈りします。
78	2020年の新生がまだ半分以上入国できない状態で、そのまま続くと学校の運営は危機的な状況になる
79	2020年度4月期生の入学が遅れたため、学習期間が短くなり、進学に向けての日本語習得の遅れが心配。入国が延期されるとそれだけ減収となる。
80	2021年の4月期生が遅れ、キャンセルが多発すると資金的に厳しくなってきます。
81	21年度は4月始業時の学生数が少ないので、入国禁止がこのまま続くと経営が困難に陥る可能性がある
82	3月の卒業生を出した後の4月からの運営計画(資金準備)がたてられません。
83	4月生(例年の3分の1)7月生(例年の半分以下の申請予定に過ぎず2021年を資金的に乗り切れるのは難しい経営状況です。)雇用調整助成金が4月末までだが更なる延長と持続化給付金、家賃援助など生き残るための援助補助を至急お願いしたい。
84	7月、10月募集が厳しい状況である。4月期に入国できないと資金的に大変な状況になる。
85	しかたがないことだが学生募集をしても学生が集まらない。学生数が減り学費収入がないため資金的に非常に厳しい。
86	学生の入学や募集が非常に困難です。財政面も厳しいです。
87	学生数が少なく、教職員の雇用が難しい。学校経営は毎月赤字。
88	学生募集がコロナ禍の影響により壊滅的状況にあり学校経営が非常に厳しい。政府からの経営維持交付金を大至急希望する。
89	学生募集ができない。わずかな新生も入国できず、経営的に立ち行かない
90	学生募集がやはり厳しい状況。政府の対策の早期の対応を明確化してほしい。
91	学生募集が危機的な状況にある。資金も厳しい。
92	学生募集が危機的状況にあり、資金的に大変厳しいです。
93	学生募集が危機的状況にあります。また帰国困難者も多く、一日も早く帰国予定者については帰国できるように、各国に働き掛けをしていただきたいです。
94	学生募集が危機的状況にある
95	学生募集が危機的状況にある。
96	学生募集が危機的状況にある。
97	学生募集が危機的状況にある。
98	学生募集が危機的状況にある。経営危機的状態にある
99	学生募集が危機的状況にある。資金的に継続して経営することが厳しい。日本語学校への支援・保証がないことが困る。
100	学生募集が危機的状況にある。資金的に厳しい
101	学生募集が危機的状況にある。資金的に厳しい。

102	学生募集が危機的状況にある。資金的に厳しい。現地の学校や公共機関の業務が滞りがちのため、資料収集がままならず、申請が後れてしまっている。
103	学生募集が危機的状況にある。入国の見通しが立たず、キャンセルも多く出ている。昨年の入学人数が大幅に減っている状況にあり、貯金が無い状態。資金的にはかなり厳しくなる。
104	学生募集が危機的状況になる。
105	学生募集が厳しい状況にある。交付されても入学の見通しが立たず、運営が厳しい。
106	学生募集が難しい。仲介手数料の値上げ競争のような市場が出来上がってしまっている。
107	学生募集が非常に困難を極めている。
108	学生募集の危機的である
109	学生募集は危機的状況、授業料収入が大幅に減少しているため資金的に厳しい、オンライン授業に伴う日本語教師の負担が増加している。→例年並みの学生が入学した場合の何割かに相当する援助が欲しい。
110	学生募集危機的状況になる。資金的に厳しい。
111	学生募集及び確保の目途が立たない。
112	学生募集及び学校運営が厳しい状態にあります。飲食店等には支援があるようですが、留学生を対象に学校教育をしている教育機関に対しての支援も考えていただきたい。
113	教職員の雇用維持が限界に近づいています。
114	経営的に大変厳しい状況であり、経営者から経費削減のために教職員数削減を言い渡され、教職員の不安とストレスは増す一方である。
115	国内、国外ともに学生の募集活動が危機的状況にあります。
116	今後の入国状況がつかめないため、2021年度準備に非常に困っている状況です。
117	今年度の入国者数8名のみ。この学生数では次年度も厳しく危機的な経営状況にあります。一刻も早い入国規制解除を求めます。
118	昨年の入国予定者にCXLが多数発生し、また入国規制により入国できない学生も多数いる。本年の学生募集も大幅減であることから、資金的に苦しく、経営を継続させることができるか不安である。
119	資金的にかなり厳しいです。
120	資金的に厳しい。このまま日がたつていくと、納入済みで未入国の学生に返金できずに倒産となる可能性が十分ある。もちろんそれは避けたいが。
121	資金的に厳しいです。
122	資金的に厳しい状況
123	上陸制限は公共の福祉のために行われている。正直なところ、来日予定の者の売上補填がなければ、法務省告示に定める運営ができず経営危機に陥る。告示でさまざまな運営基準を定めているので、入国できない状況下でも指示や支援を的確に行ってほしい。産業ごと喪失する危機的状況である。
124	申込者減少、入学予定者が入国せず経営が苦しい。
125	政府の政策により学生が入国できておりません。学校側の努力ではどうにも賄えない部分です。緊急事態宣言で飲食店に支援金が支払われたように、当業界にも何らかの支援をいただけないでしょうか。
126	生徒確保が危機的状況にある。運営が厳しい。
127	先が全く見通せない。
128	先の予定が組めないで、不安です。またレジデンストラックの滞在費、迎えの交通費などの出費についても受け入れに負担がかかりすぎます。ワクチン接種証明があれば、レジデンストラック不要にしてほしい。また、セントレア運航できるようにしてほしいです。
129	突然の入国制限で、来日予定の10月生が入国できず、教員は確保済みだったので、コスト負担が大きい。昨年1年間まったく、学生が入国できず、その上の今回の処置なので打撃が大きすぎる。
130	日本語教育機関への給付金支給をお願いします。
131	入学時期がイレギュラーなため、今後卒業までの学生管理が不安。未入国者の為、確保しているアパートの家賃などの経済的負担が大きい。入国後の待機期間の管理の精神的・経済的負担が大きい。各種日本語試験の中止や延期が相次ぎ、学生募集の際に客観的に日本語力を判断することができない。
132	入国させることができたとしても14日間のホテル待機等金銭面での負担が大きいので、14日間の待機場所条件の緩和をして欲しい。
133	入国できない状態が続く、留学生の募集が極めて困難となり、学校の運営がかなり厳しい状況に陥っている。
134	入国禁止になって入国予定者からもキャンセルと入国できないから申請者もなくなり、ほぼ申請者がいない状況。
135	入国後の2週間の自宅待機が金銭的にも厳しい状況です。
136	入国制限がいつも入学時期と重なり、入学キャンセルや延期者が続出している。この状態が2021年度以降も続くと学校運営が厳しい。
137	入国制限により新規学生が入国できない状況が続いており、開講の目途が立たない。
138	入国制限により入国時期が読めず、クラス編成が難しい。また、入国遅れによる学費の入金遅れとそれによる売上減。学校の運営が苦しいと、生き残りの為に様々な施策を講じなければならず、それがより悪循環を生む。

139	入国制限の延長により入国が確定できない状況が続いており、学生の確定が困難です。また留学希望の学生においても日本の入国状況を気にして申請を見合わせています。このままでは学生の確保ならびに授業料の未回収(入国保留の学生分)という危機的状況が予想されます。早急に入国制限を解除を希望すること、留学生の減少に対しならかの救済を希望します。
140	非常勤講師のコマ数が減って収入が激減している。経営が厳しい。
141	複数国への募集展開が厳しく、各国からの入国も厳しく、結果的に経営(資金)面も厳しい状況にあります。現在を戦時下と捉え、大型国債発行による思い切った救済策を取っていただきたい。東京五輪を目指すなら、日本語学校救済はその「試金石」ではないでしょうか。
142	未入国が続くと資金繰りにかなり大変になる。
143	融資を受けないと倒産する。助成金が欲しい。
144	予定では3月7日に緊急事態宣言が解除され、そこからビザの申請や飛行機のチケットの手配などが行われるはずでした。しかしこの2週間延長で授業開始までに日本に来れるかどうかわからなくなってしまった為7月に延期、またはキャンセルを決定する学生も出てきました。政府の方々からしたら延期は2週間なのかもしれませんが、我々からしたら3か月延期されたに等しいのです。学生の入国が止められ授業料は半減し、今年の3月には多くの学生が卒業します。2020年を息も絶え絶えに生き延びた我々には、もはやこれ以上の延期を生き延びる体力はありません。正直に申し上げると、3月21日に緊急事態宣言を解除すると言う言葉を信じて銀行や信金から運転資金を仮入れることは難しいです。飲食業界や観光業界に対して行った温かい支援の手を是非日本語教育業界にも伸ばして頂ければと思います。
145	来日困難。来日後に隔離対応が難しい。資金的に厳しい
146	ネパールを例に挙げると東京入管に比べ、大阪入管や名古屋入管の許可率が極端に良い。この傾向は2年以上続いているが、このような不均衡をいつまで放置し続けるのかを知りたい。
147	書類審査の能力が無い人が申請書類をチェックしているような気がする。
148	真面目に入国しようとしながら、資料の不備で不交付になった学生に対する入管の理由説明があいまいで何をどう修正すれば良いかがどうしてもわからないケースが多すぎると感じています。基準が厳しいのは当然としてもその調査内容についてもっと具体的に教えていただきたいと切に希望いたします。
149	提出する申請書類について全国の出入国在留管理局で統一してほしい。たとえば、ネパールの農業資料が福岡出入国在留管理局で必要なとき、ネパールのエージェントは農業資料の提出が不要な出入国在留管理局へ流れ、当校の申請が激減した。
150	入管の特定国への審査の厳しさ。
151	・学生が入国できない状態・入国した学生はアルバイトがコロナの影響で見つからない
152	2020年度入学予定者の入国が遅れたことにより、卒業時期を2023年3月と明確に決定して頂けると、今後の進学指導並びに学生募集計画も立てやすくなると思います。大幅な入国遅れは、それぞれの入学期にはっきりとした違いが無くなっているのが現状であると思いますので、一律卒業時期の明確な決定を働きかけて頂きたいと存じます。
153	2021年1月期生と4月期生は申請しなかったため0としました。要望などはございません。よろしく願いいたします。
154	アルバイトが減って困っている。アルバイトの求人がなくなった。
155	ネパールのビザの申し込んでも数か月先と時間がすごくかかる。早く出るようにしてほしい。
156	学生のアルバイトの状況がまだまだ厳しいです。
157	旧正月以降、海外の反応が乏しくなっている
158	在籍している学生でアルバイトが見つからないケースが出ている。交付された学生の中には来日してもアルバイトが見つからないのではと入学を保留しているケースがあるようだ。
159	新型コロナウイルス感染症の影響により査証の有効期限内に来日が叶わず、何度も再発給申請をしている現状です。在留資格認定証明書と同様、通常3か月有効の査証の有効期限に関しても有効期限を延ばしたり、再発給申請者に対して速やかに査証が発給されるなどの対応をお願いしたい。
160	地方空港の国際線の運航を再開すべきです。
161	日本はコロナ感染者が多いから危ないというイメージが強いようで、留学希望者が激減している。国として、コロナ感染に対する強力な抑止策を打ち出して欲しい。
162	入管に対し:コースは届出どおりにはどうしてもできないので引き続きしばらくは柔軟に対応してほしい。外務省へ:かつての杉原千畝に倣いミャンマーからの新規の4月留学生には寛大な措置をお願いしたい。
163	入国が厳しい状況に陥って困っています。
164	入国できない学生に対しオンライン授業を行っているが入国が未定な現在7月までにに入国できたとしてもレベルアップできるかどうか心配。教職員の維持確保が困難。
165	留学ビザがレジデンストラックに含まれない時期があり、混乱した。水際対策などを説明するHPが分かりにくく、確認しても省庁毎に異なる情報など、制度が分かりにくい上、混乱に拍車をかけた。
166	留学生にも特別給付金を給付して頂き有難うございました。一方では、一時的な支給では学業継続が難しい学生も多く、結果的に退学せざるを得ないケースが散見されました。出来れば受給対象の人数枠だけでなく、受給期間として1年及び2年間の学費奨学金を多くの留学生にも支給頂けることを願います。

(参考)

	2020年度													2020年度合計				2021年度	総合計			
	4月期生				7月期生			10月期生			1月期生							4月期生				
	回答 学校数	COE 交付件 数	入国済 人数	キャンセル 数	未入国 者数	COE 交付件 数	COE 交付件 数	入国済 人数	キャンセル 数	未入国 者数												
札幌出入国在留管理局	6	128	55	36	27	9	2	128	86	13	5	2	2	288	152	53	83	162	450	152	53	245
仙台出入国在留管理局	7	433	99	27	72	14	1	198	71	6	29	0	0	732	184	34	514	148	880	184	34	662
東京出入国在留管理局(含横浜支局)	126	8,901	5,140	1,738	3,744	1,706	629	3,626	1,885	392	496	326	37	16,767	9,057	2,796	4,914	5,527	22,294	9,057	2,796	10,441
名古屋出入国在留管理局	25	938	571	76	161	75	12	484	208	21	3	2	0	1,586	856	109	621	779	2,365	856	109	1,400
大阪出入国在留管理局	50	2,506	1,330	651	415	182	35	1,384	688	266	85	61	1	4,390	2,261	953	1,176	1,719	6,109	2,261	953	2,895
広島出入国在留管理局	6	271	189	23	47	5	4	168	99	3	0	0	0	486	293	30	163	149	635	293	30	312
福岡出入国在留管理局	22	728	304	97	248	37	11	203	123	18	14	2	1	1,193	466	127	600	319	1,512	466	127	919
総計	242	13,905	7,688	2,648	4,714	2,028	694	6,191	3,160	719	632	393	41	25,442	13,269	4,102	8,071	8,803	34,245	13,269	4,102	16,874

入国済み比率

	4月	7月	10月	1月	2020年 度計
札幌出入国在留管理局	43.0%	33.3%	67.2%	40.0%	52.8%
仙台出入国在留管理局	22.9%	19.4%	35.9%	0.0%	25.1%
東京出入国在留管理局(含横浜支局)	57.7%	45.6%	52.0%	65.7%	54.0%
名古屋出入国在留管理局	60.9%	46.6%	43.0%	66.7%	54.0%
大阪出入国在留管理局	53.1%	43.9%	49.7%	71.8%	51.5%
広島出入国在留管理局	69.7%	10.6%	58.9%	----	60.3%
福岡出入国在留管理局	41.8%	14.9%	60.6%	14.3%	39.1%
全国	55.3%	43.0%	51.0%	62.2%	52.2%

キャンセル率

	4月	7月	10月	1月	2020年 度計
札幌出入国在留管理局	28.1%	7.4%	10.2%	40.0%	18.4%
仙台出入国在留管理局	6.2%	1.4%	3.0%	0.0%	4.6%
東京出入国在留管理局(含横浜支局)	19.5%	16.8%	10.8%	7.5%	16.7%
名古屋出入国在留管理局	8.1%	7.5%	4.3%	0.0%	6.9%
大阪出入国在留管理局	26.0%	8.4%	19.2%	1.2%	21.7%
広島出入国在留管理局	8.5%	8.5%	1.8%	----	6.2%
福岡出入国在留管理局	13.3%	4.4%	8.9%	7.1%	10.6%
全国	19.0%	14.7%	11.6%	6.5%	16.1%

2021年4月期生対前年比

札幌出入国在留管理局	126.6%
仙台出入国在留管理局	34.2%
東京出入国在留管理局(含横浜支局)	62.1%
名古屋出入国在留管理局	83.0%
大阪出入国在留管理局	68.6%
広島出入国在留管理局	55.0%
福岡出入国在留管理局	43.8%
全国	63.3%